

ミケランジェロ①

軽トラに天使ミカエル

白道のカミミーノ便り

ミケランジェロと聞けば、あの有名な画家ではなく、彼のことか。今では先に思い出される。

彼が美郷町に来たのは2010年の梅雨の頃だった。東京のモモコに「ミゲルをよろしく」と頼まれたが、彼がスペイン人でアメリカに住むプロの写真家ということしか聞いていなかった。

美郷ではミゲルをミケランジェロと呼ぶことにすると伝えたら、それは面白いとモモコが笑った。三次の駅に出迎えた時、その話をしたら、彼は「それは本当の名前です」と言う。

スペイン語でミゲル・アンヘル (Miguel Angel)。



美郷町をゆったりと流れる江の川＝筆者撮影

日本語の「天使ミカエル」は、イタリア語でミケランジェロというわけである。ちなみに、ミゲルは英語でマイケル、フランス語だとミシエールか。

ドミニカ共和国でヘスース(英語でジーザス、日本語はイエス)という名前の人が大勢いて驚いた。日本で、釈迦や親鸞と名乗る人に出会ったら開いた口がふさがらないことだろう。欧米では聖人からもらった名前は珍しくない。

天使ミカエルをオンポロの軽トラに乗せ、江の川沿いの曲がりくねった狭い道路を三次から美郷に向かった。2カ月あまり日本を旅して、このように素晴らしい風景は初めてだと言う。1台しか通れない狭い道とオンポロトラックが雄大な中国太郎(江の川)や千の山と微妙にマッチしていたのだろう。

我が家は古い民家で、屋根裏がゲストルームである。黒々とした大きなはりを見上げて、ムカデが出なければよいかと祈った。

(つづく)